

事業番号	09 02 01	事業改善シート(24年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業大学校費			担当課	部局	林務部
<参考> 総合5か年 総計画	プロジェクト			担当課	課・室	信州の木振興課
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 1 林業再生の実現		担当課	E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp
				実施期間	S54	～

1 事業の概要

目指す姿	林業の専門的知識・技術を身につけ、農山村地域にあって指導的な役割を果たす林業技術者、林業後継者及び機械化林業の現場で即戦力となる有能な人材を養成する。 目標:平成32年度 林業就業者数 3,000人 林業技術者等の育成者数 20人/年				
現状	○卒業生18人のうち、12人が林業関連の仕事に就き、4人が森林関係の大学等へ進学するなど知識と技術は高く評価されている。また、就職者の14人うち10人(71%)が県内で就職している。 現状:林業技術者等の育成者数(入学者数) 20人(H23年度)				
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input checked="" type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()		【左記の説明、根拠法令等】 公的な森林・林業教育に対するニーズが依然として存在する。		
事業内容	① 成果目標(H24)				
	○林業技術者等の人材の育成 20人(入学者数)				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H24事業実績		H25
			(当初)	(決算)	(当初)
	林業大学校の運営	直接	30,808	29,932	29,367
	高校卒業程度の学生を対象として、一般教育科目(30単位)および専門科目(95.5単位)のカリキュラムにより専門的な知識・技術を体系的に修得させる。 ・総定員40人 (1学年の入学定員20人)				
	合計		30,808	29,932	29,367

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越	24,777			
	当初予算	29,501	30,228	30,808	29,367
	補正予算	1,804			
	合計(A)	56,082	30,228	30,808	29,367
	国庫支出金				
	県債				
	その他(使用料等)	4,942	4,824	4,824	4,830
	一般財源	51,140	25,404	25,984	24,537
	決算額(B)	54,325	28,622	29,932	29,367
概算職員数(人)	8.20	8.20	8.20	8.20	
概算人件費(C)	67,716	67,716	67,716	67,716	
概算事業費(B(A)+C)	122,041	96,338	97,648	97,083	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25目標
		目標	成果	達成状況	
林業技術者等の育成者数(入学者数)	20人/年	20人/年	20人/年	達成	20人/年

目標に対する成果の状況	目標値(入学者数)を満たしているほか、卒業生20人のうち15人が林業関連の仕事に就き、内12人が県内への就職となっている。また3人が大学校へ進学している。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・森林・林業の担い手を確保するため、今後とも、林業大学校での教育を行い、森林・林業の広範な知識を有する林業技術者・林業後継者となる有能な人材を育成することが必要である。 ・先進的技術である高性能林業機械の実習などの実技実習を強化するなど、林業大学校生のスキルアップや他県の林業関連学校との交流促進に継続して取り組む必要がある。
---------------------	---